

- 1、学校における暑さ対策と
学校生活の見直しについて
- 2、市民活動における
公共施設利用の安全・安心について
- 3、データセンターの環境影響と
脱炭素施策との整合について

会派市民の声 小田川敦子

酷暑日と真夏日、猛暑日の違い

用語	基準	基準気温の種類	目安・備考
夏日	25℃以上	日最高気温	半袖で過ごせるくらいで日中はうっすらと汗ばむ程度
真夏日	30℃以上	日最高気温	熱中症リスクが高まり始める
猛暑日	35℃以上	日最高気温	屋外活動に危険を伴う暑さ
酷暑日	40℃以上	日最高気温	命の危険を感じる暑さ
熱帯夜	25℃以上	日最低気温（夜間）	夜間も気温が下がらず体に負担がかかる

酷暑日の1日 気温変化パターン

●午前中（急激な上昇）

午前6時頃から太陽が昇るにつれて気温がグングン上昇します。午前9時の段階で30℃を超えていることが多く、早いペースで熱せられます。

●午後2時～3時頃（最高気温：40℃以上）

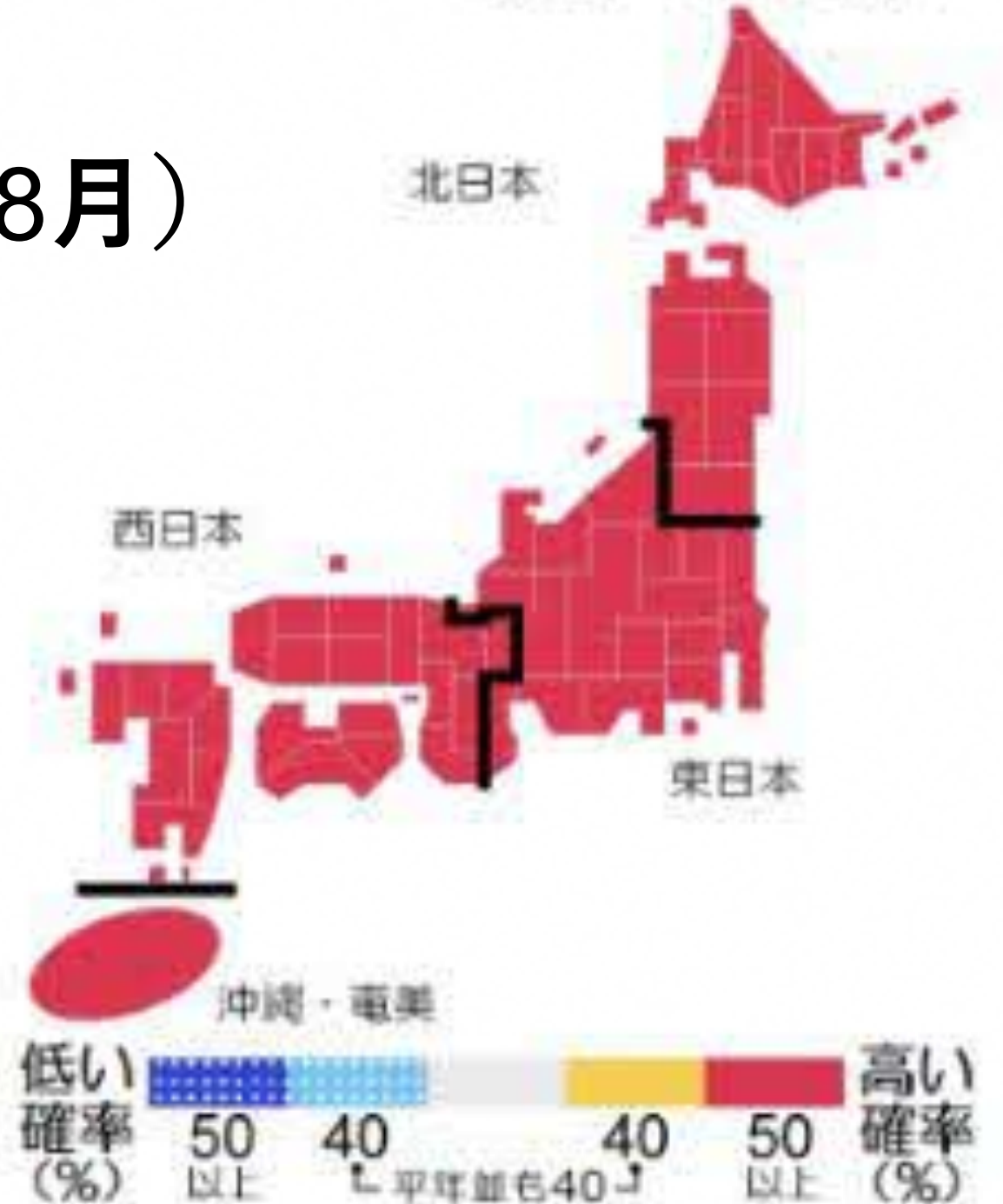
地表に熱が蓄積され、午後2時から3時頃にかけて最も高い気温（40℃以上）に達します。この時間帯は直射日光が最も強く、外出が極めて危険な状態となります。

●夕方～夜（高止まり）

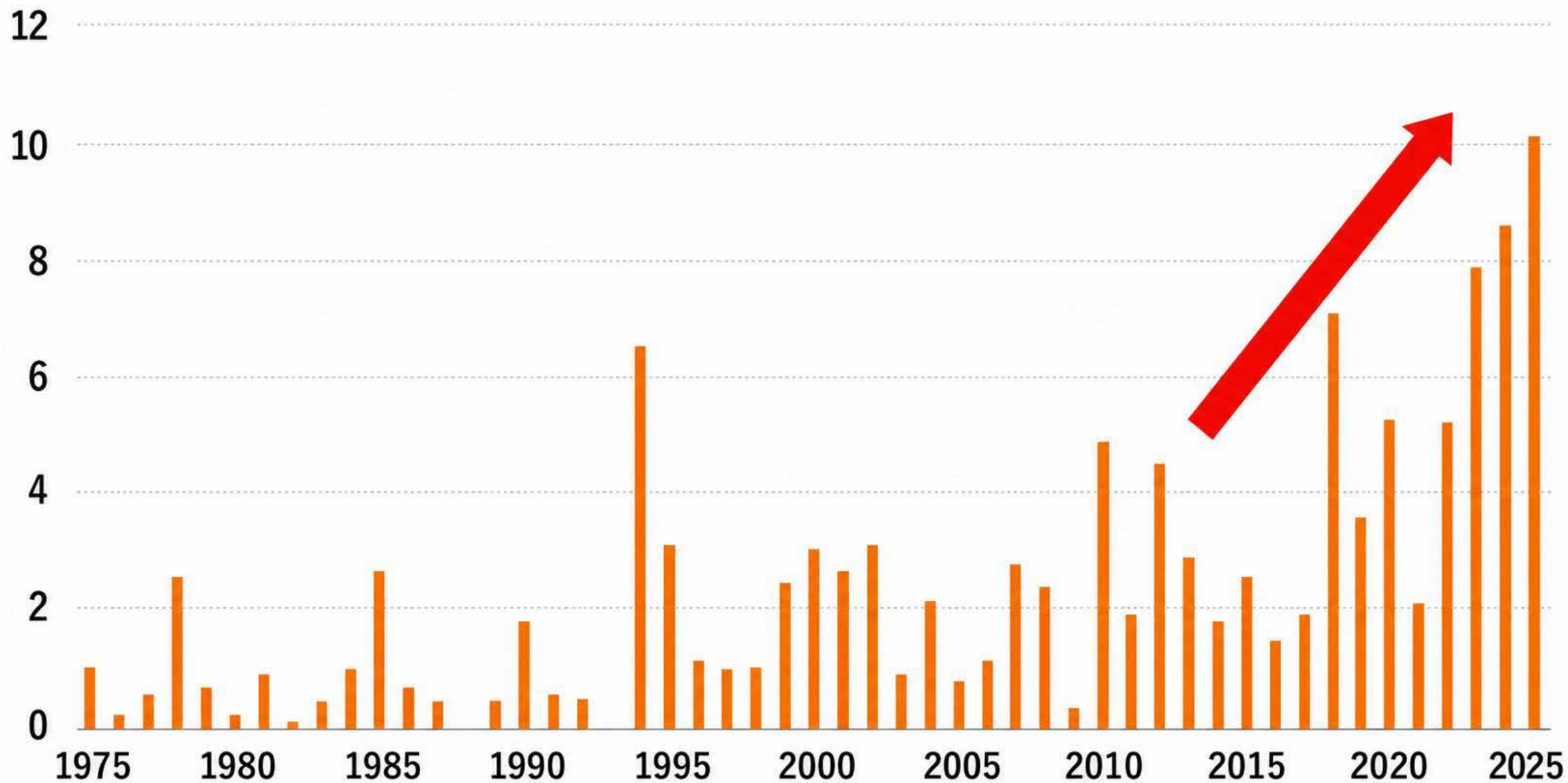
日が沈むにつれて気温は下がりますが、地面に溜まった熱や都市部のヒートアイランド現象によって気温の下がり方は非常に緩やかです。夜になっても30℃前後と高い気温が続きます。

夏の天候の見通し (平均気温 夏6月～8月)

※2025年は歴史的な酷暑となりましたが、2026年の夏はそれに匹敵、あるいは上回るほどの厳しい暑さになる可能性もあります。



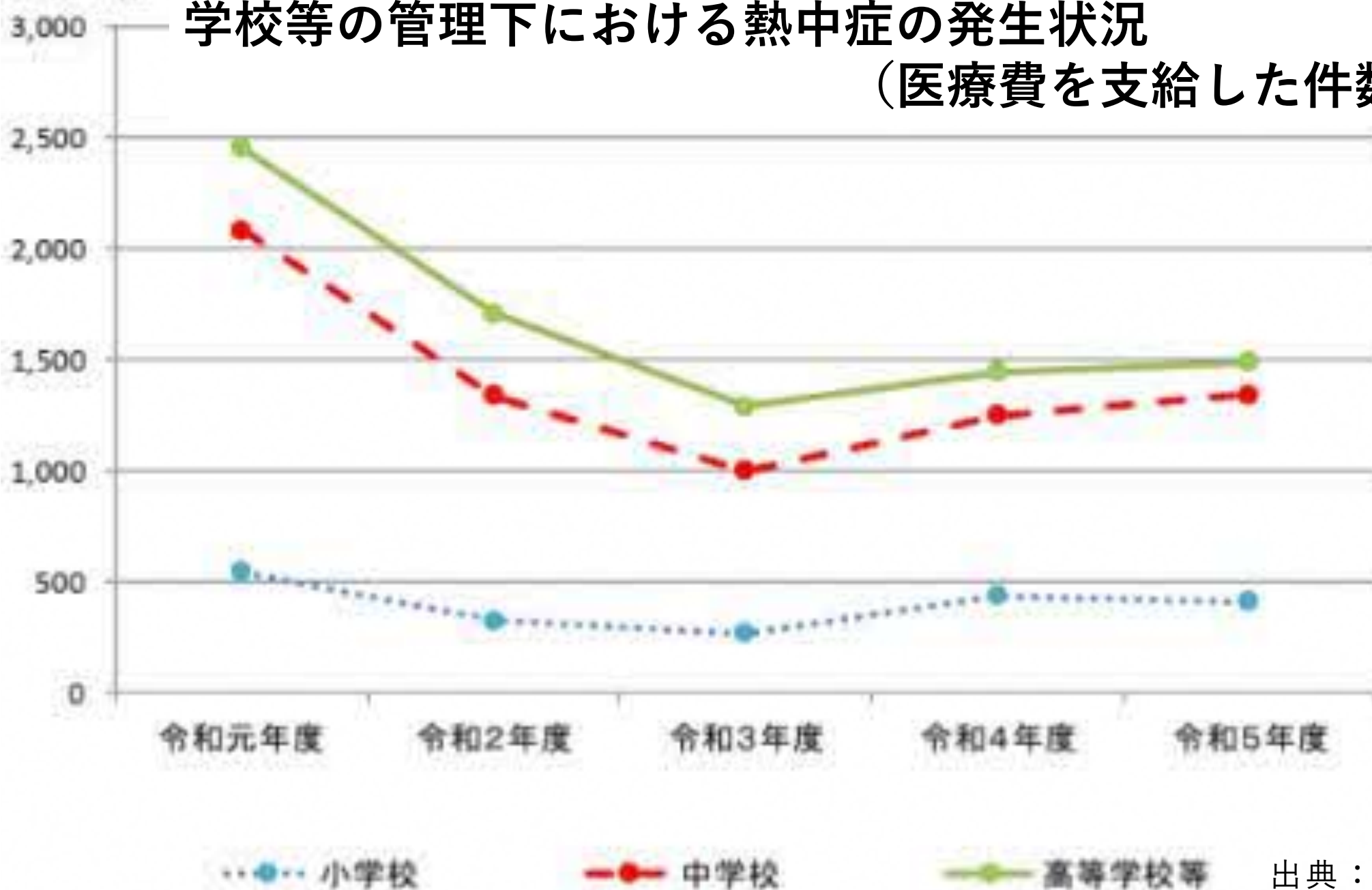
全国の日最高気温35°C以上（猛暑日）の年間日数



出典：気象庁 全国（13地点平均）の猛暑日の年間日数

単位 件

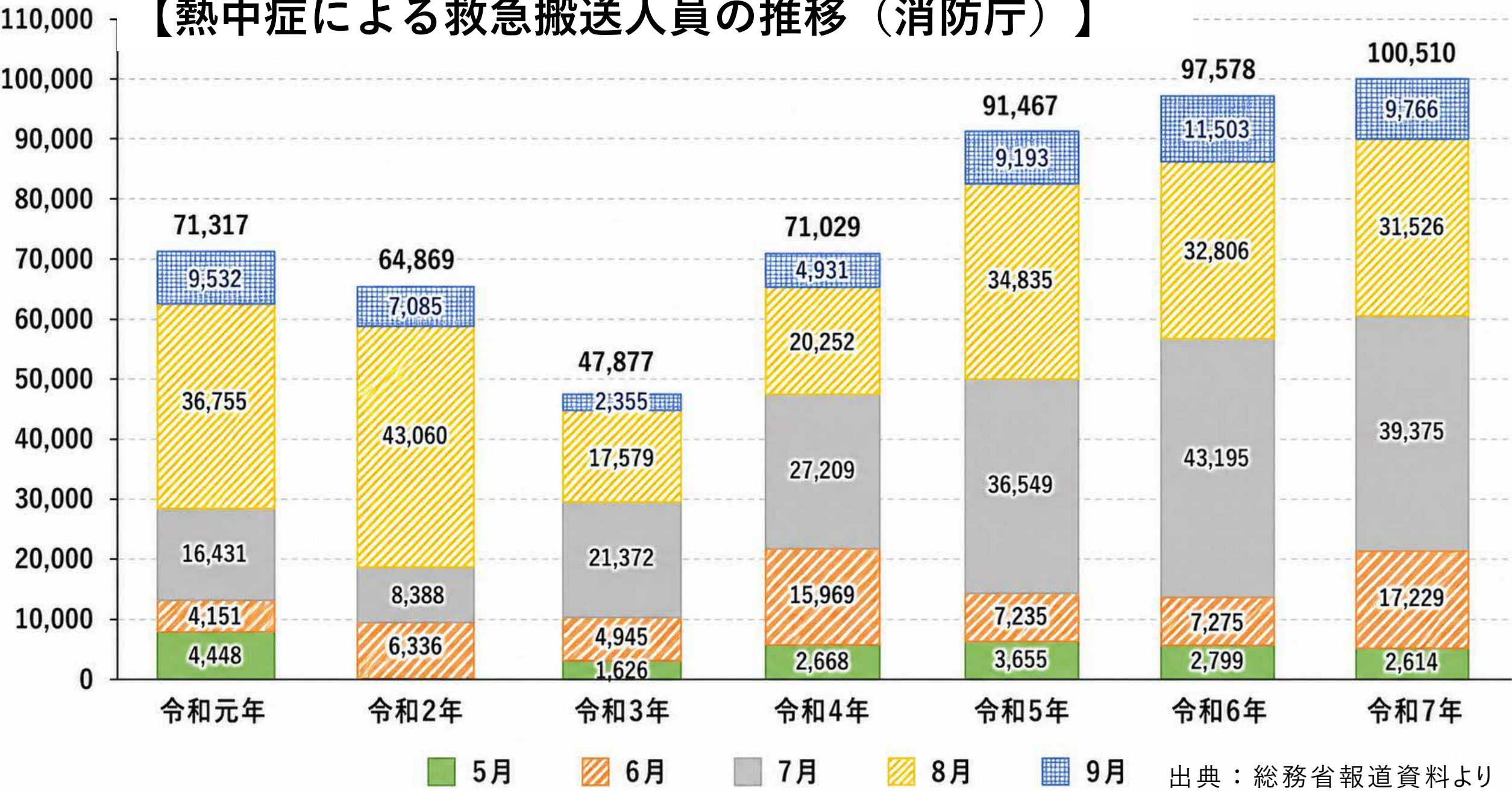
学校等の管理下における熱中症の発生状況 (医療費を支給した件数)



出典：文科省HP

(人)

【熱中症による救急搬送人員の推移（消防庁）】



出典：総務省報道資料より

1、学校における暑さ対策と
学校生活の見直しについて

2、市民活動における
公共施設利用の安全・安心について

3、データセンターの環境影響と
脱炭素施策との整合について

会派市民の声 小田川敦子

2026年 6月議会

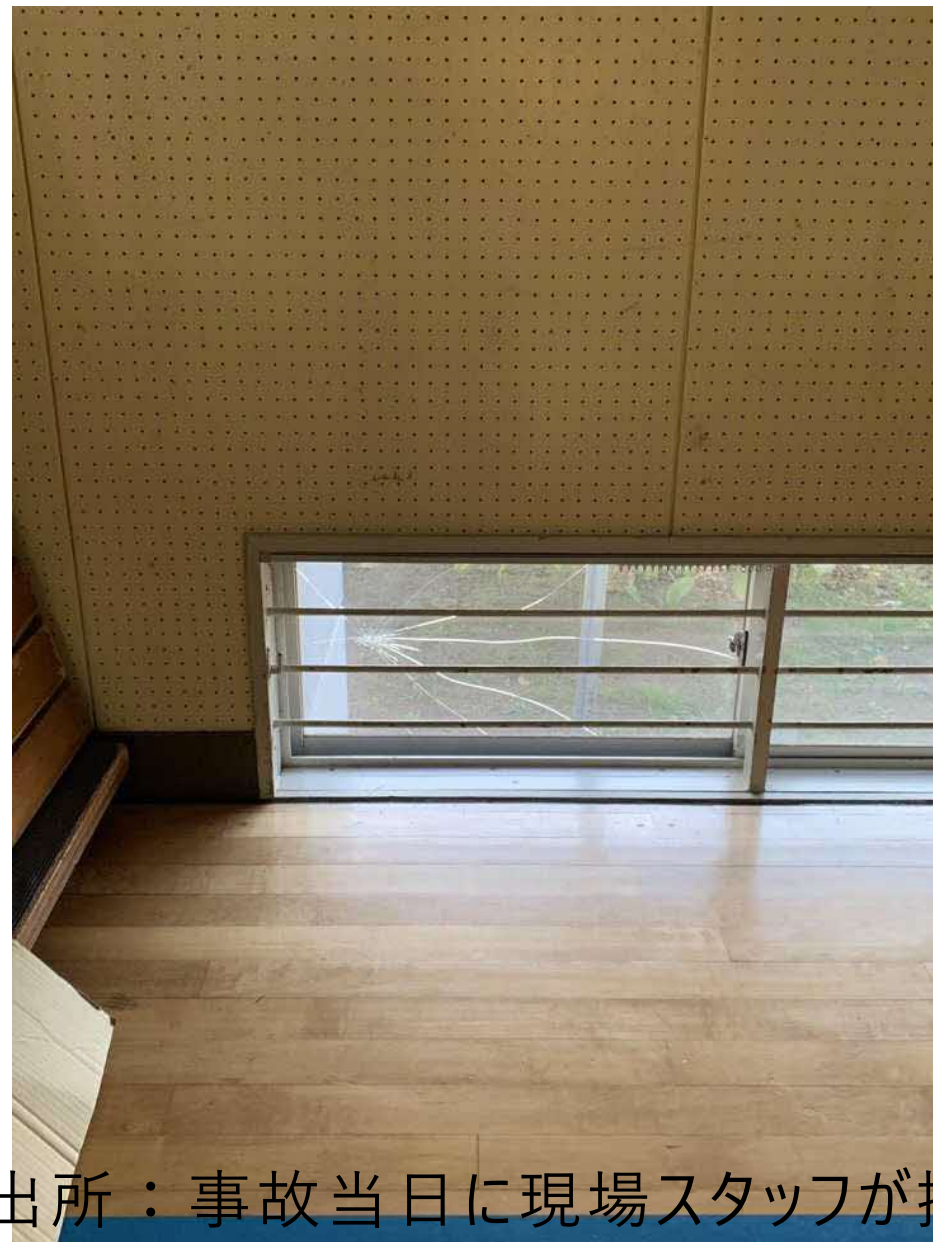
破損状況



南山小学校体育館ガラス

工事前

破損状況



出所：事故当日に現場スタッフが撮影

- 1、学校における暑さ対策と
学校生活の見直しについて
- 2、市民活動における
公共施設利用の安全・安心について
- 3、データセンターの環境影響と
脱炭素施策との整合について**

会派市民の声 小田川敦子

2026年 6月議会

「一番問題なのはDCがとてつもなく電力を使うことだ。巨大な排熱により、真夏にはヒートアイランド現象が起きる恐れがある。」

出所：朝日新聞朝刊2026年1月27日「シン経済圏」より抜粋

「米大学の研究によると、DC建設が集中している地域では、風下エリアが風上よりも気温が平均0.7～0.9度、最大で2.2度高くなっている。局地的な『ヒートアイランド現象』を深刻化させ、夏場は熱中症リスクを高める恐れがある。」

出所AERAデジタル2026年6月6日配信「住宅地そばの巨大データセンター建設は「新しい公害」か 都市部で相次ぐ摩擦 浮かぶ情報開示と法整備の課題」より抜粋

2026/6/17

